



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月3日
東・札

上場会社名 株式会社ジャックス

上場取引所

コード番号 8584

URL <http://www.jaccs.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 春野 伸治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役上席執行役員 (氏名) 菅野 峰一 (TEL) 03-5448-1311

四半期報告書提出予定日 平成24年2月9日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	81,537	△7.9	8,440	105.7	10,082	72.2	4,885	36.6
23年3月期第3四半期	88,546	△8.8	4,103	△46.8	5,854	△36.8	3,576	△1.9

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 3,611百万円(48.7%) 23年3月期第3四半期 2,428百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	27.90	—
23年3月期第3四半期	20.43	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	2,742,096	107,995	3.9
23年3月期	2,786,288	105,261	3.8

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 107,978百万円 23年3月期 105,245百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
24年3月期	—	0.00	—		
24年3月期(予想)				7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	107,300	△7.7	9,400	199.6	11,600	111.7	5,600	27.3	31.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期3Q	175,395,808株	23年3月期	175,395,808株
24年3月期3Q	325,301株	23年3月期	317,408株
24年3月期3Q	175,075,280株	23年3月期3Q	175,086,841株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料は、当社ホームページに掲載する予定です。

5. 平成24年3月期の個別業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	105,400	△7.1	10,100	126.0	10,000	127.0	4,100	16.4	23.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料は、当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	10
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
4. その他に関する情報	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(平成23年4月1日～平成23年12月31日)におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による経済活動の停滞からは緩やかな回復の兆しが見られてきたものの、欧州債務問題による世界経済の減速や円高の進行など、引き続き予断を許さない状況で推移いたしました。

当業界におきましては、総量規制の影響によるキャッシング残高の減少により、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような中、当社グループは今年度を再成長に向けた経営体質強化の年と位置付け、事業収益性の向上を目指してまいりました。

平成23年10月には、更なる成長と新たな事業領域の創出を実現するために本部組織を改編し、推進機能と企画機能を一体化させることで、専門スキルを活かした商品開発力・市場開発力を強化し、市場ニーズに迅速に応えられる体制といたしました。また、同年12月にはコンプライアンスの充実・強化を図るため、営業・債権管理・審査事務の3部門を並立させ、ガバナンスがより効果的に機能する体制にいたしました。

営業面では、幅広い業界へ積極的な提案を行い、テレビ通販による環境商品の決済に「WeBBy 通販パック」が採用されるなど、販売チャネル毎に最適な決済ソリューションを導入してまいりました。

また、ポイント還元率に特化した「Reader's Card」や学生を対象とした「ジャックスカードアクルクス(ACRUX)」の募集を開始するなど、商品ラインアップの拡充にも努めてまいりました。

しかしながら、関連業法改正による消費者信用マーケットの収縮により、引き続きトップラインは厳しい状況で推移いたしました。

一方、営業費用は、基幹システムJANETの減価償却終了に伴い計算費が減少し、加えて債権良質化の進展および債権回収の安定化により未収債権が抑制され貸倒関連費用が減少いたしました。

以上の結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の営業収益は815億37百万円(前年同期比7.9%減)となり、経常利益は100億82百万円(前年同期比72.2%増)、四半期純利益は48億85百万円(前年同期比36.6%増)となりました。

主な部門別取扱高の状況は以下のとおりであります。なお、当社グループは信販事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(包括信用購入あっせん)

カードショッピングにおきましては、リボショッピングの取扱いが続伸したことを受け、順調に推移いたしました。また、課金市場の開拓や商品コンセプトを絞ったカードを新たに発行するなど商品の拡充に努めてまいりました。

以上の結果、当部門の連結取扱高は5,634億51百万円(前年同期比0.7%増)となりました。

(個別信用購入あっせん)

オートローンにおきましては、東日本大震災の影響を大きく受けていた国産車市場が、第2四半期以降回復基調に転じたことに伴い、取扱いは増加いたしました。加えて輸入車においても取扱いが好調に推移いたしました。

ショッピングクレジットにおきましては、平成23年5月にリリースした高額歯科治療を対象としたデンタル専用Webサイト「デントキュア」等の新分野に注力してまいりました。加えて、インターネット上でショッピングクレジットの申し込みが可能なシステムを推進し、お客様の利便性向上に努めてまいりました。

ショッピングクレジットは一部の業種で回復基調にあるものの、全体的には依然として低調に推移いたしました。

以上の結果、当部門の連結取扱高は1,696億8百万円(前年同期比2.8%減)となりました。

(信用保証)

金融機関個人ローン保証におきましては、無担保住宅借換ローン保証は増加いたしました。マイカーローン保証、リフォームローン保証は前年同期より減少いたしました。なお、平成23年7月より株式会社三菱東京UFJ銀行のマイカーローン、教育ローン等の保証業務を開始、同年9月には専門の審査センター(東京保証センター)を開設し、提携を強化しております。

住宅ローン保証におきましては、引き続き良質な保証残高を積み上げております。

オートローン保証におきましては、回復基調の国産車をはじめ好調な輸入車に注力し、取扱いは引き続き順調に推移いたしました。

また、市場が拡大している太陽光発電等の環境関連商品は、伸率が鈍化したものの堅調に推移いたしました。

以上の結果、当部門の連結取扱高は4,458億10百万円(前年同期比8.3%増)となりました。

(融資)

カードキャッシングにおきましては、取扱い回復に努めているものの市場の収縮や総量規制の影響が大きく、減少傾向が続いております。

以上の結果、当部門の連結取扱高は645億55百万円(前年同期比33.5%減)となりました。

(その他)

集金代行業務におきましては、不動産管理会社を中心に順調に推移いたしました。

また、損害保険・生命保険の各種代理店業務、カーリース業務、人材派遣業務、サービサー業務などは連結子会社におきまして取扱い拡大に取り組んでまいりました。

以上の結果、当部門の連結取扱高は5,332億19百万円(前年同期比3.1%増)となりました。

(参考)

(注) 下記表の前年同四半期の金額、構成比及び前年同期比増減率は参考として記載しております。

連結部門別取扱高

部門	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)		前年同期比 (%)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
包括信用購入あっせん	559,506	31.8	563,451	31.7	0.7
個別信用購入あっせん	174,507	9.9	169,608	9.6	△2.8
信用保証	411,585	23.4	445,810	25.1	8.3
融資	97,095	5.5	64,555	3.6	△33.5
その他	517,075	29.4	533,219	30.0	3.1
合計	1,759,769	100.0	1,776,644	100.0	1.0

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第3四半期連結会計期間の資産は、前連結会計年度に比べ441億91百万円減少し、2兆7,420億96百万円となりました。

これは、現金及び預金、割賦売掛金の減少等によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間の負債は、前連結会計年度に比べ469億25百万円減少し、2兆6,341億1百万円となりました。

これは、借入金等有利子負債の減少等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間の純資産は、前連結会計年度に比べ27億33百万円増加し、1,079億95百万円となりました。

これは、利益剰余金の増加等によるものであります。

なお、提携保証業務のうち保証履行限度額を設定した契約に基づく取扱いにつきましては、当該保証履行限度額を保証債務残高と認識し、信用保証割賦売掛金及び信用保証買掛金として計上しております。ただし、提携金融機関が実施する債権流動化に伴い劣後受益権を取得している場合は、当該保証履行限度額から劣後受益権相当額を控除しております。この結果、当第3四半期連結会計期間の信用保証割賦売掛金並びに信用保証買掛金は、当該契約としなかった場合に比べ、それぞれ5,534億37百万円少なく計上されております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

最近の業績動向を踏まえ、通期の連結業績につきましては、営業収益は1,073億円、経常利益は116億円、当期純利益は56億円を予想しております。また、通期の個別業績につきましては、営業収益は1,054億円、経常利益は100億円、当期純利益は41億円を予想しております。当該予想数値に関する事項は、本日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	167,592	147,893
割賦売掛金	874,331	842,708
信用保証割賦売掛金	1,668,117	1,676,207
リース投資資産	9,324	7,892
前払費用	1,555	1,281
繰延税金資産	4,488	2,237
立替金	25,235	22,258
未収入金	11,973	12,283
その他	1,382	1,289
貸倒引当金	△30,990	△23,039
流動資産合計	2,733,011	2,691,011
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,140	8,171
減価償却累計額	△4,076	△4,225
建物及び構築物（純額）	4,063	3,945
土地	14,988	14,988
その他	2,379	2,321
減価償却累計額	△1,368	△1,366
その他（純額）	1,011	954
有形固定資産合計	20,063	19,889
無形固定資産		
ソフトウェア	8,298	9,217
その他	36	36
無形固定資産合計	8,335	9,253
投資その他の資産		
投資有価証券	12,874	10,132
固定化営業債権	3,548	3,332
長期前払費用	482	329
繰延税金資産	3,329	3,612
差入保証金	1,866	1,787
前払年金費用	4,799	4,607
その他	651	634
貸倒引当金	△2,674	△2,494
投資その他の資産合計	24,877	21,941
固定資産合計	53,276	51,085
資産合計	2,786,288	2,742,096

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	31,409	26,869
信用保証買掛金	1,668,117	1,676,207
短期借入金	172,669	151,949
1年内償還予定の社債	14,800	14,500
1年内返済予定の長期借入金	128,498	175,624
コマーシャル・ペーパー	89,100	86,700
未払金	2,589	2,364
未払費用	1,358	1,797
未払法人税等	497	1,598
預り金	39,922	43,150
前受収益	611	534
賞与引当金	2,423	1,201
ポイント引当金	1,764	1,850
割賦利益繰延	76,101	79,056
その他	3,686	3,179
流動負債合計	2,233,550	2,266,583
固定負債		
社債	46,800	32,300
長期借入金	390,833	327,559
退職給付引当金	23	25
役員退職慰労引当金	50	52
利息返還損失引当金	1,774	1,729
長期預り保証金	2,905	2,620
負ののれん	4,807	3,004
その他	281	225
固定負債合計	447,476	367,517
負債合計	2,681,026	2,634,101
純資産の部		
株主資本		
資本金	16,138	16,138
資本剰余金	30,468	30,468
利益剰余金	58,868	62,878
自己株式	△165	△167
株主資本合計	105,309	109,317
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	434	△693
繰延ヘッジ損益	△29	△25
為替換算調整勘定	△469	△620
その他の包括利益累計額合計	△64	△1,339
少数株主持分	16	16
純資産合計	105,261	107,995
負債純資産合計	2,786,288	2,742,096

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
営業収益		
包括信用購入あっせん収益	13,773	14,858
個別信用購入あっせん収益	16,081	13,821
信用保証収益	27,126	28,013
融資収益	25,115	18,458
その他の営業収益	5,960	5,821
金融収益		
受取利息	120	249
受取配当金	368	313
金融収益合計	488	563
営業収益合計	88,546	81,537
営業費用		
販売費及び一般管理費	74,665	64,741
金融費用		
借入金利息	8,035	7,037
コマーシャル・ペーパー利息	228	127
その他の金融費用	1,513	1,189
金融費用合計	9,776	8,355
営業費用合計	84,442	73,096
営業利益	4,103	8,440
営業外収益		
負ののれん償却額	1,802	1,802
雑収入	118	55
営業外収益合計	1,921	1,858
営業外費用		
利息返還損失引当金繰入額	128	190
雑損失	41	25
営業外費用合計	170	215
経常利益	5,854	10,082
特別利益		
投資有価証券売却益	138	15
受取和解金	—	50
株式割当益	522	—
特別利益合計	661	65
特別損失		
固定資産除却損	54	40
投資有価証券売却損	17	3
投資有価証券評価損	264	1,341
減損損失	23	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	192	—
特別損失合計	552	1,385

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
税金等調整前四半期純利益	5,963	8,762
法人税、住民税及び事業税	173	1,650
法人税等調整額	2,213	2,226
法人税等合計	2,386	3,876
少数株主損益調整前四半期純利益	3,576	4,885
少数株主利益	0	0
四半期純利益	3,576	4,885

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,576	4,885
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△924	△1,128
繰延ヘッジ損益	76	3
為替換算調整勘定	△300	△150
その他の包括利益合計	△1,148	△1,274
四半期包括利益	2,428	3,611
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,428	3,610
少数株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. その他に関する情報

当社は、平成23年4月のシステム障害時に、割賦販売法に定める支払可能見込額調査が適正に実施されなかったことに関し、同年12月に監督当局である経済産業省・関東経済産業局より業務改善命令を受けました。

みなさまに多大なるご心配とご迷惑をおかけしましたことを改めてお詫び申し上げます。

今後、このような事態を二度と起こすことのないよう深く反省するとともに、平成24年1月に監督当局へ提出しました業務改善報告書において策定した再発防止策を着実に実行し、役職員一丸となってみなさまの信頼の回復に努めてまいります。

再発防止策につきましては、業務改善報告書(抜粋)を当社ホームページの重要なお知らせにおいて公表しております。(http://www.jaccs.co.jp/)